

# 千葉市立青葉病院 診療科別臨床研修プログラム リハビリテーション科

## I. 研修プログラムの目的および特徴

近年、医学的リハビリテーションは急性期医療から在宅医療、さらには福祉の分野も含めて、患者の年齢や疾患を問わず幅広い分野でその必要性・重要性が改めて認識されているところである。当青葉病院では、平成 15 年の新病院開院と同時にリハビリテーション科が設置され医学的リハビリテーションを担当している。高齢化社会による疾病構造の変化に伴い、初期臨床研修の段階で、リハビリテーションの現場を体験しておくことは、医師としてのキャリアパス構築の為に極めて重要である。

本研修プログラムの主たる目的は、リハビリテーション医学の基本事項習得に加え、当院が急性期医療を基本的機能とした病院であることから、各種疾患の急性期医療でのリハビリテーション医療の役割を学習することである。特に、指導医が神経内科医であることから、脳血管障害などの神経内科領域の疾患におけるリハビリテーションの重要性に重点をおいた研修を実施する。

## II. 研修指導医

研修責任者	青墳 章代	リハビリテーション科統括部長
-------	-------	----------------

## III. 研修内容と到達目標

### 1. 一般目標

- (1) 障害およびリハビリテーションの基本概念を理解し、医学的リハビリテーションの基本的知識・技術を修得する。
- (2) 患者およびリハビリテーションスタッフと良好なコミュニケーションをとり、チーム医療に従事する態度を身につける。

### 2. 行動目標

- (1) 基本的診察法
  - 1) 患者およびその関係者と良好な人間関係をつくることができ、必要な問診や情報収集ができる。
  - 2) 全身の観察ができ、記載できる。
  - 3) 骨・関節・筋肉系の診察ができ、記載できる。
  - 4) 神経学的診察ができ、記載できる。
  - 5) 障害の評価ができ、記載できる。
  - 6) 障害に伴う患者の心理的問題について考えることができる。
- (2) 基本的臨床検査
  - 1) 単純 X 線検査
  - 2) X 線 C T 検査
  - 3) M R I 検査

4) 筋電図

(3) 基本的治療法

- 1) 療養指導ができる。
- 2) 各種訓練について学びその実際を見学・体験する。
- 3) 基本的な補装具やリハビリテーション機器についての説明ができる。
- 4) リハビリテーション計画の立案と訓練処方ができる。
- 5) 訓練中のリスク管理について説明できる。
- 6) スタッフと良好なコミュニケーションがとれる。

(4) 医療記録

- 1) 診療録を記載管理できる。
- 2) リハビリテーション計画書を作成できる。

**経験すべき症状・障害、疾患・病態**

(1) 症状・障害

- 1) 麻痺（中枢性、末梢性）
- 2) 高次脳機能障害
- 3) 関節痛
- 4) 歩行障害
- 5) A D L 障害
- 6) 廃用症候群

(2) 疾患・病態

- 1) 脳血管障害
- 2) 脊髄障害（脊髄損傷、頸髄症）
- 3) 神経変性疾患（パーキンソン病ほか）
- 4) 関節疾患（慢性関節リウマチ、変形性関節症、膝靭帯損傷）
- 5) 各種疾患治療過程における廃用症候群

(3) 特定の医療現場の経験

- 1) 医学的リハビリテーション
- 2) 関係診療科の回診・カンファレンスへの参加

**IV. 評価法**

1. リハビリテーション科研修プログラム終了時に、各指導医の総意に基づき指導責任者により総合評価が行われる。
2. 指導医により、各到達目標に対する評価が行われる。
3. 研修医は、各到達目標に対する自己評価表を提出する。